

海底土核種分析結果<1/2>

参考値

(データ集約：2/15)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口付近)	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)	福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から 南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)	いわき市北部沖合 3km
試料採取日 時刻	平成24年2月13日 9時10分	平成24年2月13日 8時45分	平成24年2月13日 14時30分	平成24年2月13日 8時05分	平成24年2月13日 6時35分
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	ND	ND	ND	ND	ND
Cs-134 (約2年)	590	830	230	160	99
Cs-137 (約30年)	760	1,100	280	200	130

※ その他の核種については評価中。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約8Bq/kg・湿土) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海底土核種分析結果<2/2>

参考値

(データ集約：2/15)

採取場所	夏井川沖合 3km	沼の内沖合 3km	豊間沖合 3km		
試料採取日 時刻	平成24年2月13日 7時02分	平成24年2月13日 7時25分	平成24年2月13日 7時43分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	ND	ND	ND		
Cs-134 (約2年)	68	96	190		
Cs-137 (約30年)	95	130	250		

※ その他の核種については評価中。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約5Bq/kg・湿土) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 海底土中の Pu 分析結果

### 1. 測定結果

(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
岩沢海岸沖合 3km	1月5日 日本分析センター	N.D. [ $<1.4 \times 10^{-2}$ ]	$(3.4 \pm 0.25) \times 10^{-1}$
小高区沖合 3km	1月7日 日本分析センター	N.D. [ $<1.1 \times 10^{-2}$ ]	$(3.2 \pm 0.22) \times 10^{-1}$
原町区沖合 3km		N.D. [ $<1.5 \times 10^{-2}$ ]	$(3.8 \pm 0.26) \times 10^{-1}$
岩沢海岸沖合 8km		N.D. [ $<1.3 \times 10^{-2}$ ]	$(3.7 \pm 0.25) \times 10^{-1}$
福島第一 敷地沖合 15km	1月10日 日本分析センター	N.D. [ $<1.3 \times 10^{-2}$ ]	$(1.8 \pm 0.16) \times 10^{-1}$
沼の内沖合 5km	1月13日 日本分析センター	N.D. [ $<1.6 \times 10^{-2}$ ]	$(5.7 \pm 0.35) \times 10^{-1}$
福島第一 5,6号機放水口北側	1月18日	N.D. [ $<1.4 \times 10^{-2}$ ]	$(6.9 \pm 0.96) \times 10^{-2}$
福島第一 南放水口付近	日本分析センター	N.D. [ $<1.4 \times 10^{-2}$ ]	$(1.2 \pm 0.13) \times 10^{-1}$
鹿島沖合 5km	1月26日 日本分析センター	N.D. [ $<1.2 \times 10^{-2}$ ]	$(4.7 \pm 0.30) \times 10^{-1}$
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定範囲(平成11年度～平成20年度) <sup>1</sup>		-	$1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$
国内における過去の測定範囲(平成18年度～平成22年度) <sup>2</sup>		N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$	-

[ ]内は検出限界値を示す

1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

2：出典 文部科学省.“環境放射線データベース”.

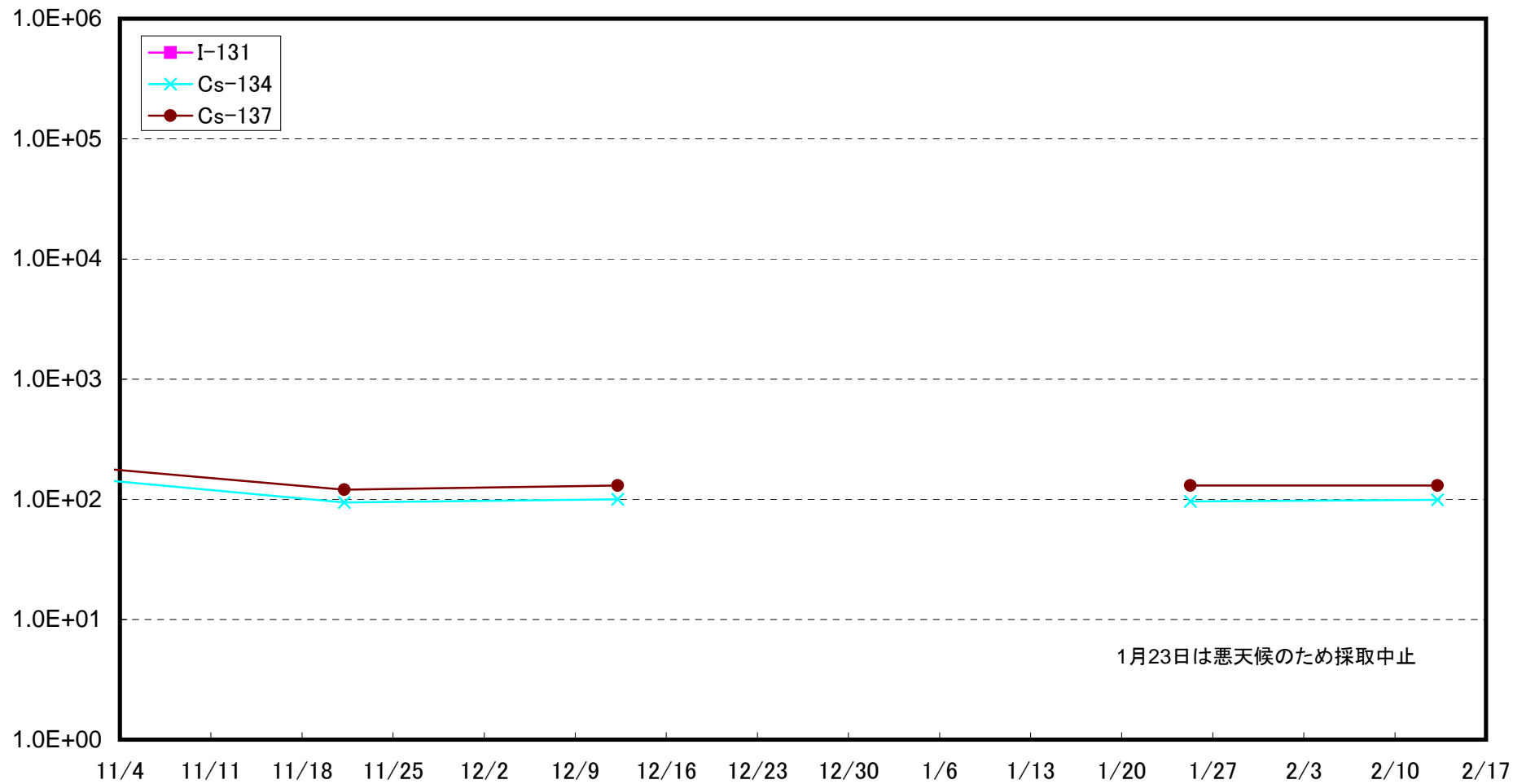
<http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top>, (参照 2012-01-18).

### 2. 評価

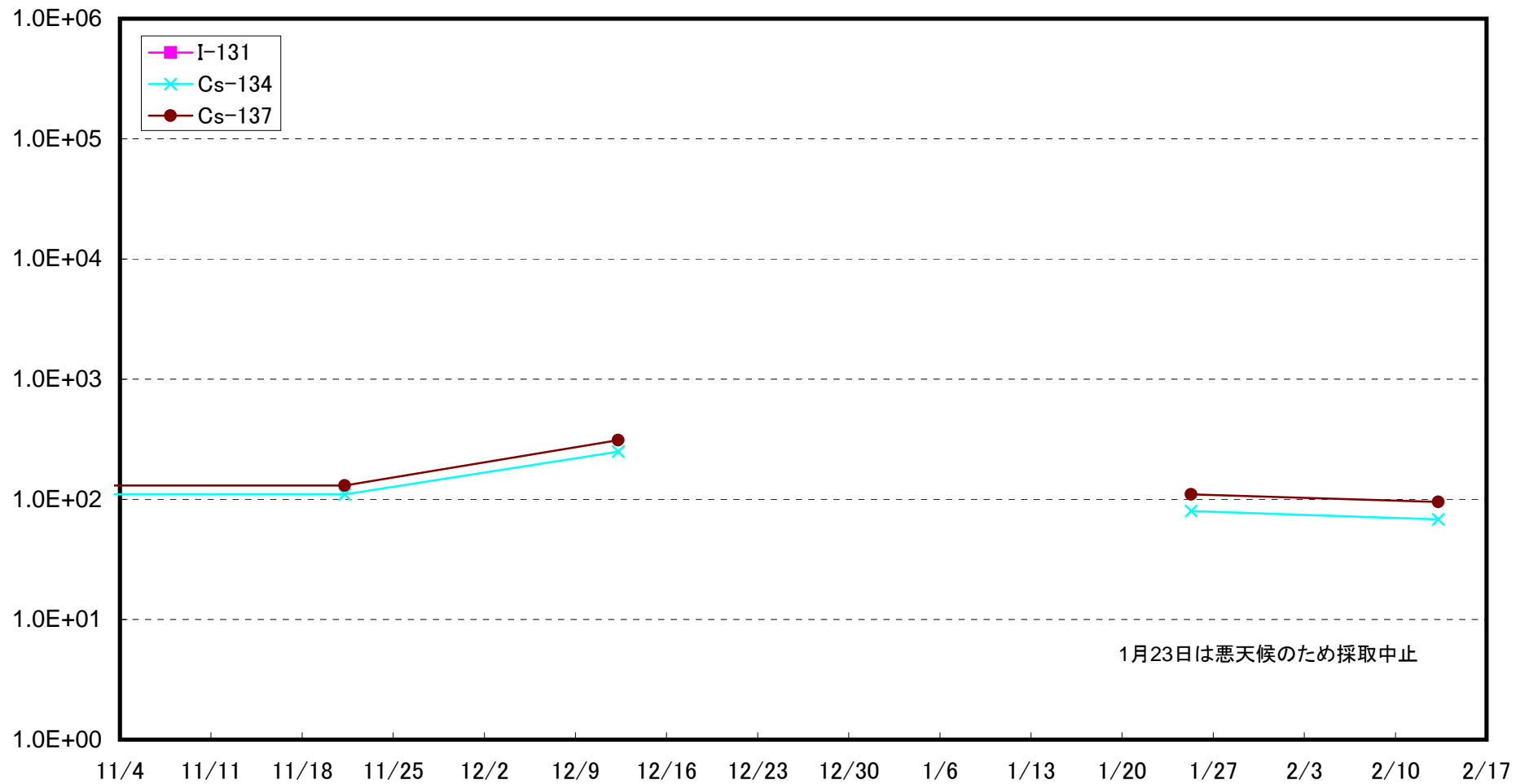
1月5日～1月26日に検出されたPu-239, 240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値と同程度であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以上

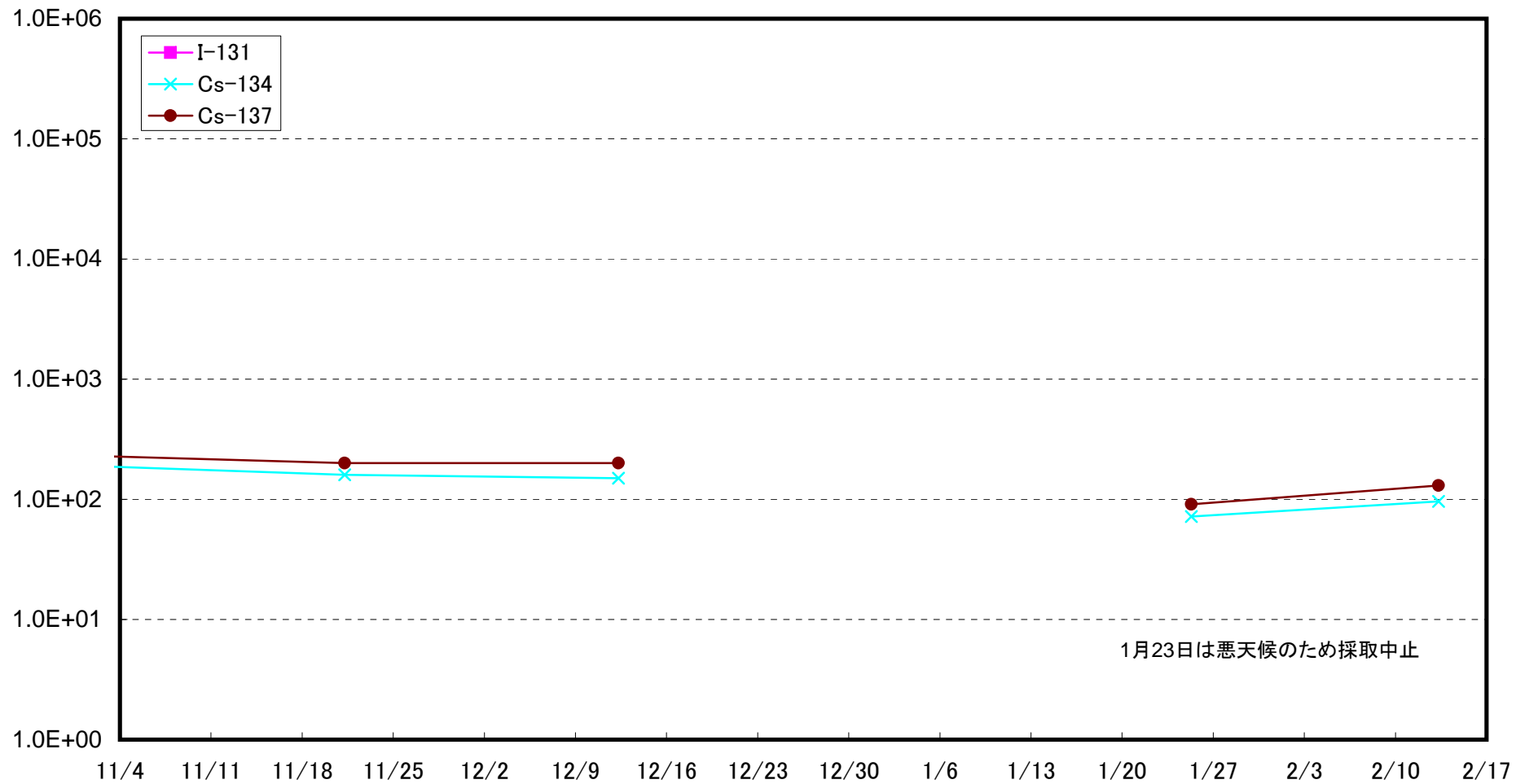
# いわき市北部沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)



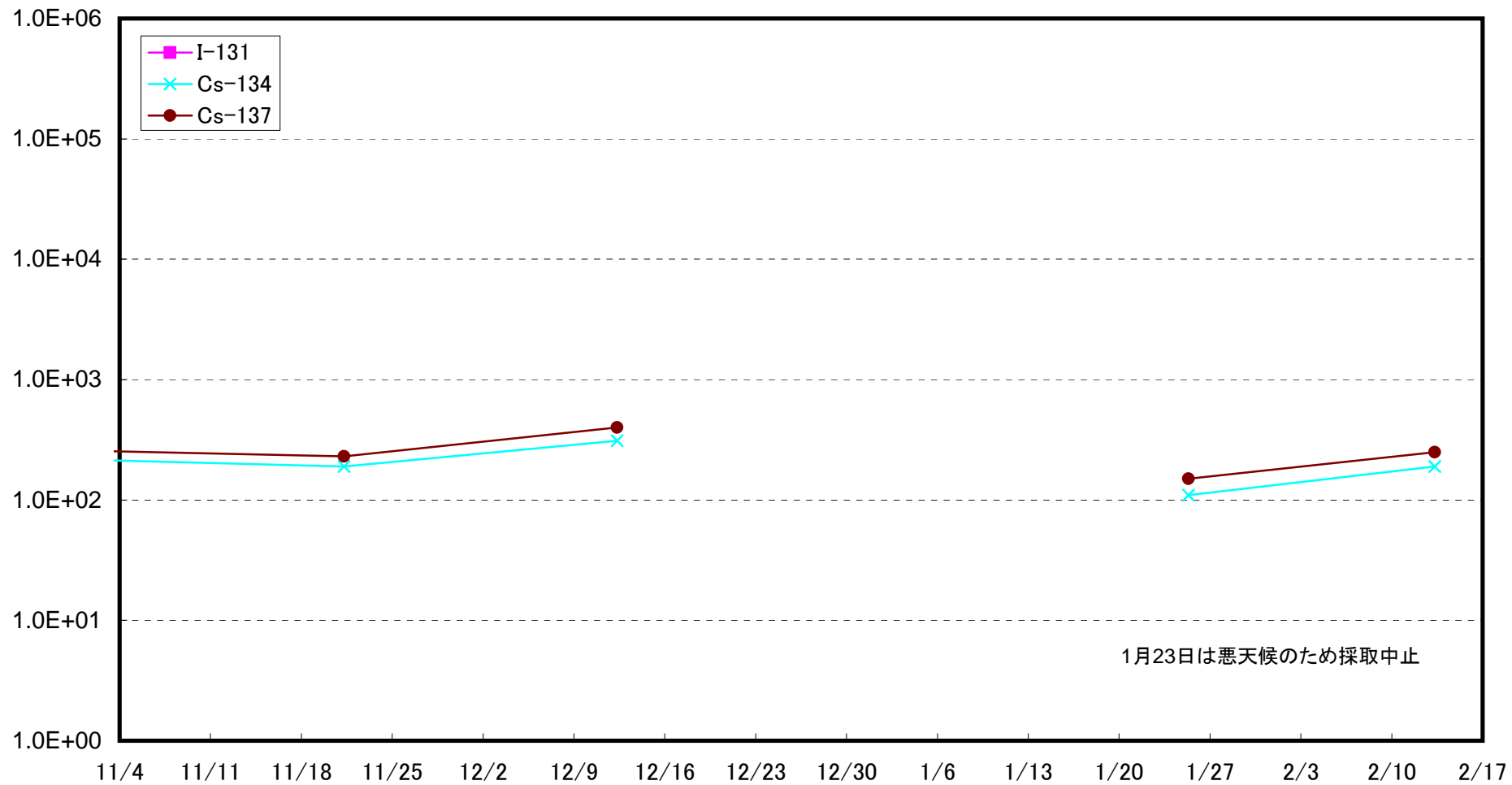
# 夏井川沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)



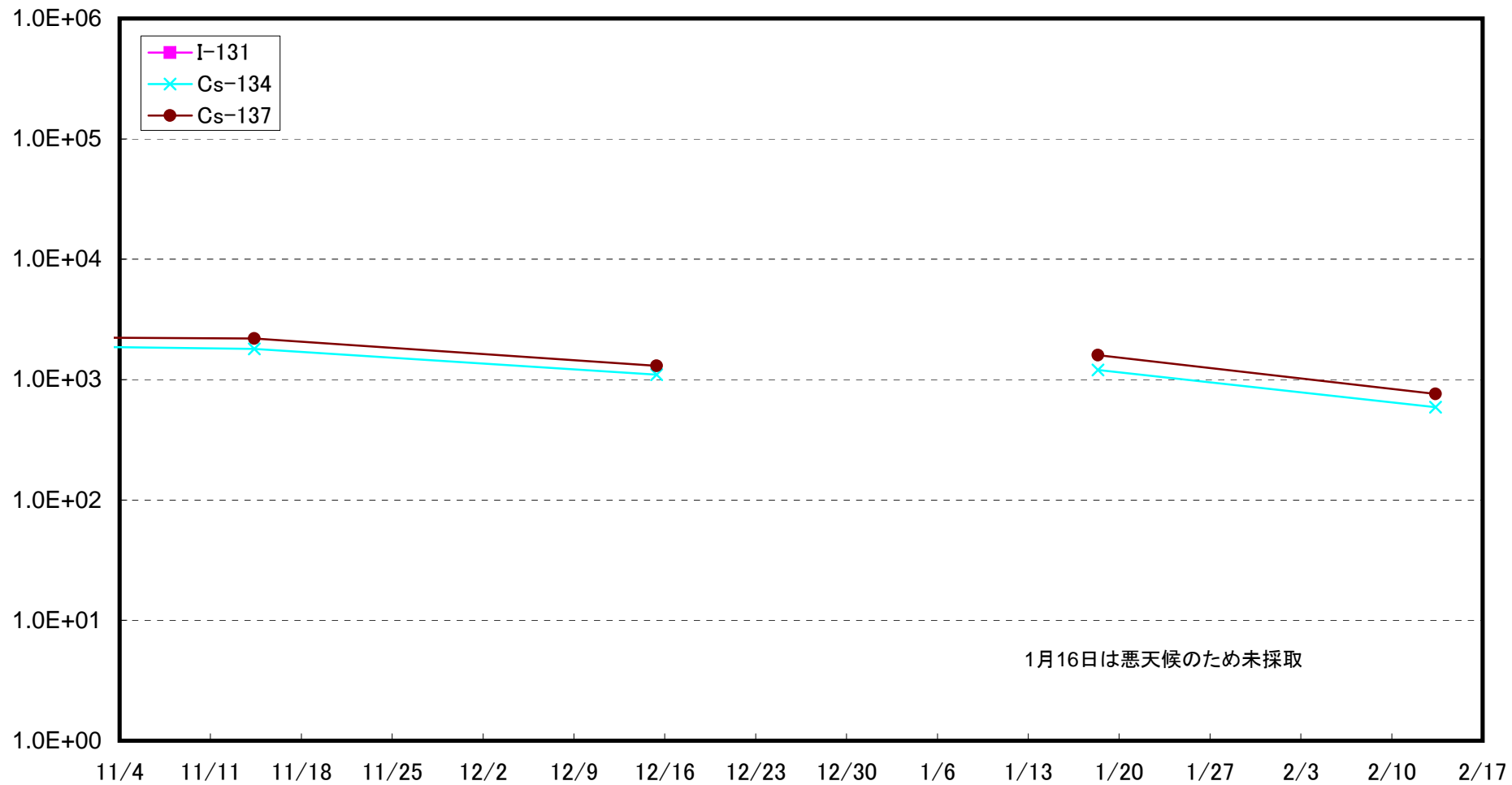
# 沼の内沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)



# 豊間沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)

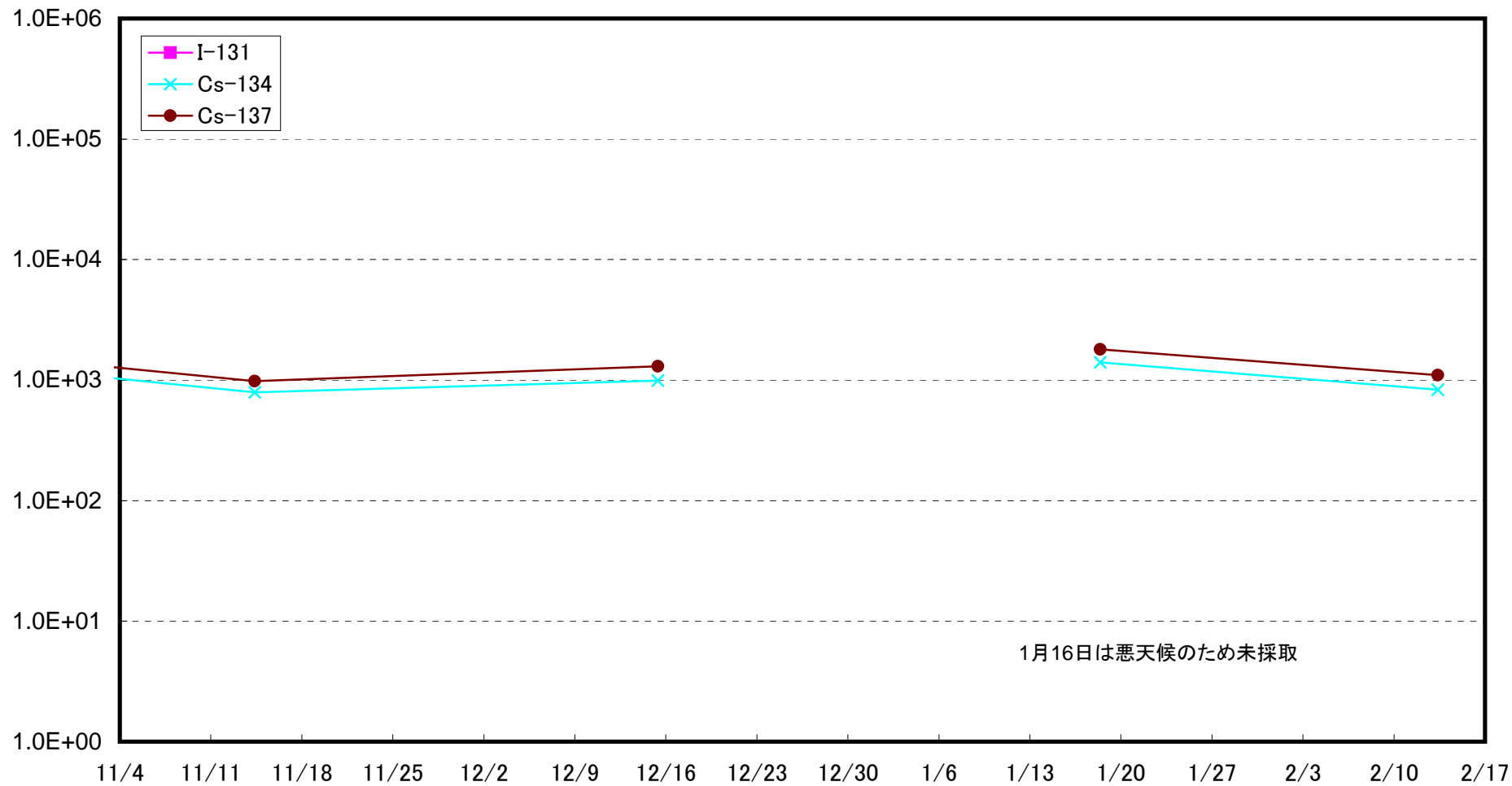


# 福島第一 5,6号機放水口北側 海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)

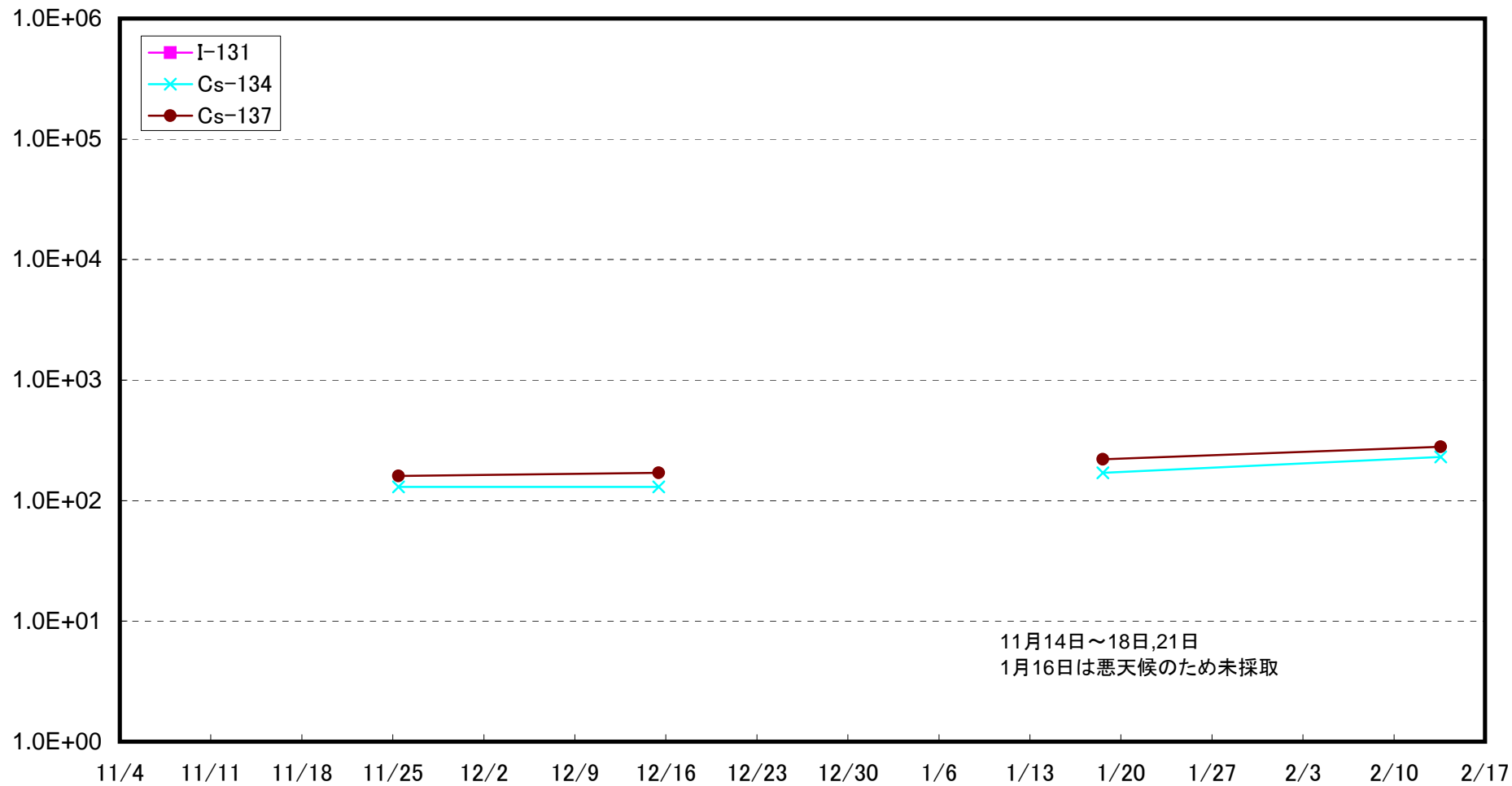




# 福島第一 南放水口付近 海底土放射能濃度 (Bq/kg・湿土)



# 福島第二 北放水口付近 海底土放射能濃度 (Bq/kg・湿土)



# 福島第二 岩沢海岸付近 海底土放射能濃度 (Bq/kg・湿土)

